

取組名	AEDを用いた心肺蘇生法を含む応急手当講習会		
特徴	1年生と希望教職員を対象とした消防署員による応急手当講習会		
学校名	県立美祢青嶺高等学校	期日	平成30年9月12日(日)

## 1 ねらい

応急手当の意義や手順、AEDを用いた心肺蘇生法を理解し習得することで、主体的に社会の安全に貢献できる力を育成する。

## 2 概要

### (1) 取組の流れ

AEDの正しい使い方や心肺蘇生法を含む応急手当を専門家から学ぶことにより、緊急時に落ち着いて速やかな対応ができることが期待される。また、事前に保健の授業において理論を学習することにより、効果的に知識や技能の習熟を促した。

教職員においても、生徒が安全に学校生活を送ることができるよう、積極的な参加を促した。

### (2) 当日の流れ(美祢市消防署員4名による講習)

#### ①理論

13:25 DVD視聴

#### ②実践

13:45 胸骨圧迫

14:05 人工呼吸

14:20 AED使用方法

14:50 ロールプレイ(応急手当の手順)

15:20 止血法

15:30 搬送法

15:40 気道異物除去法

#### ③振り返り

15:50 資料配布

16:00 講習会終了



胸骨圧迫



人工呼吸



AED使用方法

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

ロールプレイでは、心肺蘇生法を含む応急手当の手順を理解し、実践することができた。傷病者の容態を確認するポイントや代用品の具体例等、実践で感じた疑問や問題を消防署員へ質問する姿や、要点や改善点を生徒同士で教え合う意欲的な姿勢も見られた。また、十数名の教職員も講習会に参加し、生徒の安全に配慮する意識を高める機会となった。

### (2) 課題

応急手当の方法論を学ぶことはできたが、生徒の実生活との関連性を意識させて、実際に落ちついて速やかに実行できるためには、各生徒の身の回りで起こりうる傷害や傷病者等の場面設定をより詳しく行い、現実的な現場対応力として身に付ける必要がある。また、生徒が安全に学校生活を送るために、より多くの教職員にも同様の研修を実施することで、理想的な組織を構築すべきである。安全で安心な社会を担う人材の育成に向けて、これらのことを次年度以降に生かしたい。